

# 地獄 (仏教)



この記事は **検証可能な参考文献や出典** が全く示されていないか、不十分です。  
出典を追加して記事の信頼性向上にご協力ください。（2015年8月）

**地獄**（じごく、梵: नरक Naraka、音写: 奈落）とは**仏教**における世界観の1つで最下層に位置する世界。**欲界**・**冥界**・**六道**、また**十界**の最下層である。一般的に、大いなる罪悪を犯した者が死後に生まれる世界とされる。

地獄は、サンスクリット語で Naraka（ナラカ）といい、**奈落**（ならく）と音写されるが、これが後に、演劇の舞台の下の空間である「**奈落**」を指して言うようになった。

## 目次

### 概説

地獄の色

### 種別

### 地獄思想の成立

### 関連項目

### 外部リンク

## 概説

六道の下位である**三悪趣**（三悪道とも、**地獄**・**餓鬼**・**畜生**）の1つに数えられる。あるいは三悪趣に**修羅**を加えた**四悪趣**の1つ、また六道から**修羅**を除く**五悪趣**（五趣）の1つである。いずれもその最下層に位置する。

日本の仏教で信じられている処に抛れば、死後、人間は**三途の川**を渡り、7日ごとに閻魔をはじめとする**十王**の7回の裁きを受け、最終的に最も罪の重いものは地獄に落とされる。地獄にはその罪の重さによって服役すべき場所が決まっており、**焦熱地獄**、**極寒地獄**、**賽の河原**、**阿鼻地獄**、**叫喚地獄**などがあるという。そして服役期間を終えたものは**輪廻転生**によって、再びこの世界に生まれ変わるとされる。

こうした地獄の構造は、イタリアの**ダンテ**の『**神曲**』地獄篇に記された九圏からなる地獄界とも共通することがたびたび指摘される。たとえば、ダンテの地獄には、三途の川に相当する**アケローン川**が流れ、この川を渡ること**で地獄**に到着するのである。

『古事記』には地獄に似ている**黄泉国**が登場する。ただし、『**日本書紀**』の中に反映されている**日本神話**の世界では、地獄は登場しない。代わりに**小野篁**が地獄に降り、**閻魔大王**のもとで裁判の補佐をしていたという伝説や、**日蔵**が**蔵王菩薩**の導きで、地獄へ行き罰をうける**醍醐天皇**とその臣下に逢う説話などが残されている。

## 地獄の色

東アジアの仏教では、地獄の色は道教的に、あるいはその影響を受けた陰陽道的に「黒」で表す。餓鬼は赤、畜生は黄、修羅は青、この三色を混ぜると地獄の黒になると言われる。また、節分で追われる赤鬼、黄鬼、青鬼はここから来ている。

## 種別

衆生が住む閻浮提の下、4万由旬を過ぎて、最下層に無間地獄（むけんじごく）があり、その縦・広さ・深さは各2万由旬ある。この無間地獄は阿鼻地獄と同意で、阿鼻はサンスクリットaviciを音写したものとされ、意味は共に「絶え間なく続く（地獄）」である。

その上の1万9千由旬の中に、大焦熱・焦熱・大叫喚・叫喚・衆合・黒縄・等活の7つの地獄が重層しているという。これを総称して**八大(八熱)地獄**という。これらの地獄にはそれぞれ性質があり、そこにいる衆生の寿命もまた異なるとされる。

また、この八熱地獄の4面に4門があり、門外に各4つの小地獄があり、これを合して**十六遊増地獄**という（四門地獄、十六小地獄ともいう）。八熱地獄と合せば**百三十六地獄**となる。また八熱地獄の横に**八寒地獄**または十地獄があるともいわれる。

また、山間廣野などに散在する地獄を**孤独地獄**という。

## 地獄思想の成立

元々は閻魔大王、牛頭、馬頭などの古代インドの民間信仰である死後の世界の思想が、中国に伝播して道教などと混交して、仏教伝来の際に日本に伝えられた。

そのため元来インド仏教には無かった閻魔大王を頂点とする官僚制度などが付け加えられた。その後、浄土思想の隆盛とともに地獄思想は広まり、民間信仰として定着した。

地獄は、日本の文化史の中では比較的新しいもので、これが特に強調されるようになったのは、平安時代の末法思想の流行からのことと思われる。この流行の中で恵心僧都源信がまとめたのが『往生要集』である。

地獄思想の目的は、一つには宗教の因果応報性であり、この世界で実現されない正義を形而上世界で実現させるという機能を持つ。（→キリスト教の「最後の審判」）

神道では江戸後期に平田篤胤が禁書であったキリスト教関係の書物を参考にして幽明審判思想を考案した。すなわちイエスの最後の審判のように、大国主命（おおくにぬしのみこと）が死者を「崇り神」などに格付けしてゆくという発想である。

## 関連項目

- 地獄
- 三界
- 八大地獄
- 十界
- 地獄 (キリスト教)

## 外部リンク

- 国立博物館所蔵国法重要文化財- 地獄草紙



『地獄草紙』「雨炎火石」（東京国立博物館蔵）

---

「[https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=地獄\\_\(仏教\)&oldid=66901331](https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=地獄_(仏教)&oldid=66901331)」から取得

---

最終更新 2018年1月8日 (月) 01:23 (日時は個人設定で未設定ならばUTC)。

テキストは[クリエイティブ・コモンズ表示-継承ライセンス](#)の下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は[利用規約](#)を参照してください。